

令和5年産 コメ通信

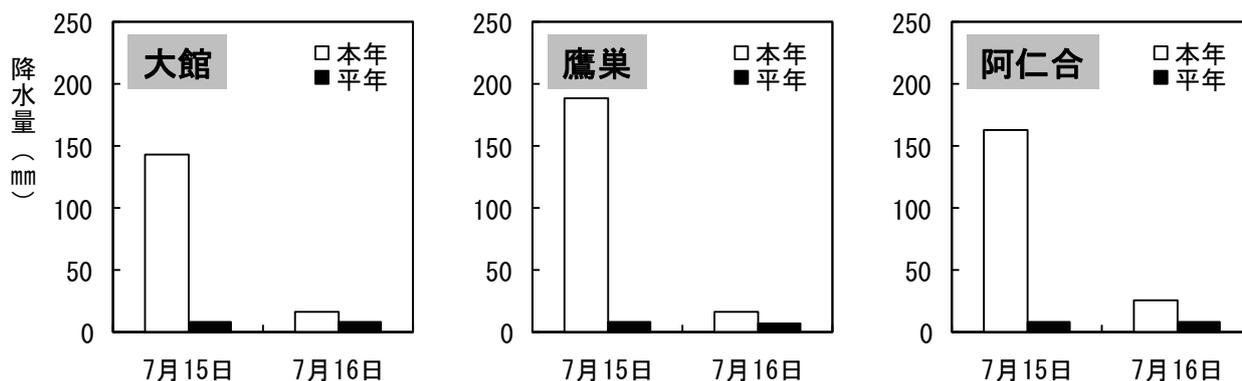
臨時号（令和5年7月18日）

【発行】

北秋田地域振興局農林部農業振興普及課
（電話：0186-62-1835）

豪雨後の適切な管理を！

1 7月15～16日の降水状況



第1図 7月15～16日の降水状況（管内の各アメダス地点）

- 平年の降水量を大きく上回り、大雨警報及び洪水警報が発表されました。
- 一部地域で河川の増水や水田の浸水・冠水が見られました。

2 冠浸水被害のあったほ場における管理

- 既に幼穂形成期に入っているほ場が多く、水稻の生育にとって重要な時期となっています。水が引いた後に、速やかに以下の対策を講じてください。

【いもち病対策】

- 予防剤と治療剤の混合剤であるノンブラスまたはブラシンフロアブルを10 aあたり100～150 L（1,000倍）の水で希釈し、散布することで、冠浸水によるいもち病の発生を防ぎます。
- 飼料用米も主食用米と同様に防除を行ってください。
- 薬剤の総使用回数に注意してください。（詳しくはコメ通信 第5号を参照）

【乾燥対策】

- 冠浸水した稲体は水分を失いやすくなっています。減数分裂期や出穂期が近い場合、田面の過度な乾燥に注意してください。

【その他】

- 河川の氾濫による冠浸水で、流木やごみ等がほ場へ流入した場合は、ほ場外へ除去してください。

問い合わせはJAまたは農業振興普及課まで